



南風 三郷ひだまり保育園交流事業

(平成30年9月発行)

実施の概要

日時：平成30年8月6日(月)・7日(火) 8時30分～16時30分
 場所：三郷ひだまり保育園
 対象：主に、将来の進路希望で保育士や幼稚園教諭を目指す生徒
 生徒：3学年6名

<活動の記録>



今年も、三郷ひだまり保育園との交流事業を実施しました。ひだまり保育園の多田園長先生をはじめ、保育士、栄養士の諸先生方のご協力のおかげで無事に2日間の交流事業を実施することができました。

初日の朝、多田園長先生から、実習中の諸注意や園内の説明をしていただきました。その中で、特に印象深かったことは、「子どもの目線で話すこと。命令口調では話さないこと。」とされました。何気ない立ち振る舞いや話し方ひとつにおいても気を付ける必要があることがわかりました。生徒たちは不安な面持ちのなか、パワフルな園児たちに圧倒されていましたが、時間が経つにつれて、穏やかな表情になり、自然と笑みも溢れるようになっていました。手遊びや歌を歌って自己紹介をしたり、本を読んであげたり、おやつにはエプロンをつけてお茶を飲ませてあげたりしました。いつしか、園児たちに溶け込んでお世話をしていました。

二日目になると、生徒たちも慣れてきて、園児の特徴もつかめ、お昼寝の起こし方やおやつの配膳の仕方などもスムーズにできるようになりました。

こちらの三郷ひだまり保育園は食育も盛んです。季節の野菜を使ったメニュー。旬のとうもろこしを園児が直接触って皮をむく。食べるだけではなく、生活の中でも自然の恵みを感じさせている。なかなか、うまいやうかただと思いました。栄養士の先生方も上手に園児とかかわっていらっしやることがうかがえました。また、防災訓練のお話も紙芝居や絵を使って大変わかりやすくお話をされていました。私語をする園児がいると「シー！！前の先生のお話を聞いて！」と、注意ができるまでお世話ができるようになりました。

実習の終了する時間がきて、ある園児にお別れの挨拶をすると泣いてしまい、後追いをしました。本当に、人懐っこい、かわいらしい園児がたくさんいる保育園でした。

交流事業が終了した後、多田園長先生から、「挨拶、身支度、言葉使いには気を付けること。保育士を目指すならば、丁寧な字、正しい漢字、文章力をつけること。」と現場に即した貴重なアドバイスをいただきました。授業では、教科書からしか学べません。今回、普段接することのできない園児や保育園の先生方と触れ合い、自らの考えを広げ深めることができたことだろうと思います。彼らが、主体的な行動を起こしていったことで、たくさんの深い学びができ、確実に成長ができたと思います。

生徒たちにとってこの交流事業は非常に有益であり、彼らのキャリアデザインに、生きる力を培う一助にもなったことでしょう。これもひとえに、三郷ひだまり保育園の園長先生をはじめとした諸先生方のご尽力の賜物だと思えます。改めて心より感謝申し上げます。

～就職に進学にも強い！それが八潮南高校！～